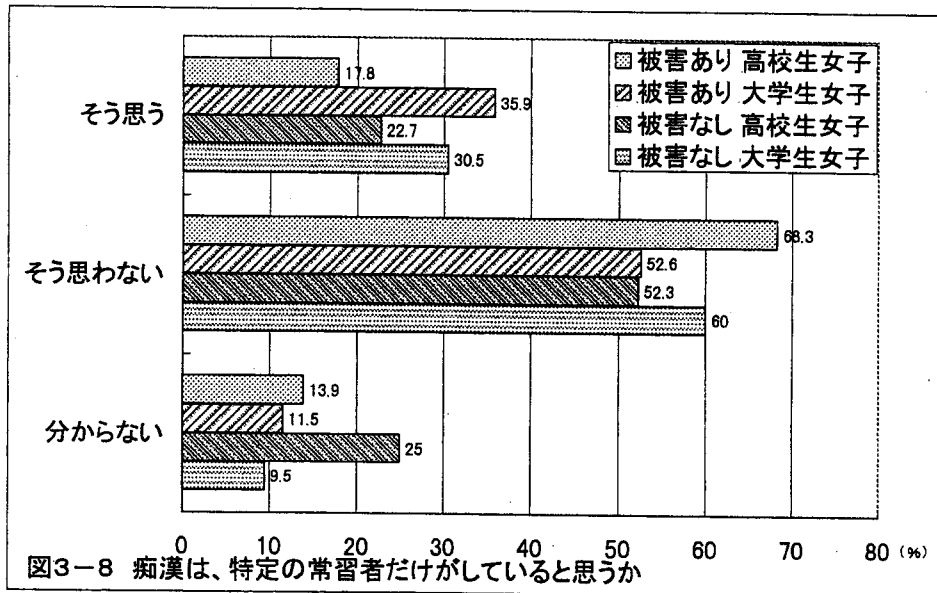


④ 痴漢は常習者が行っているか

被害の有無別に集計した結果を図3-8に示す。



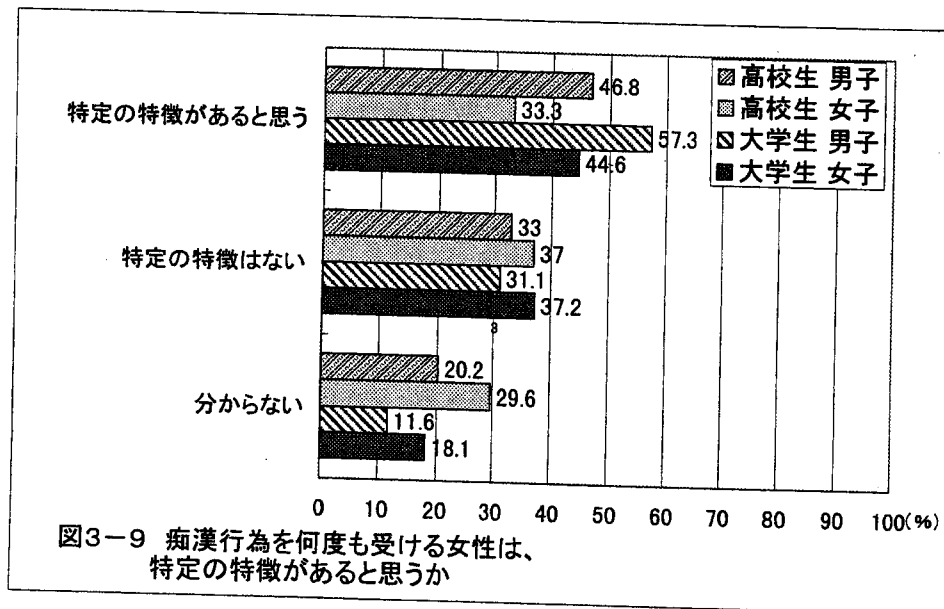
この設問に対する回答結果は、先述のように高校生女子と大学生女子とでは異なった様相を示している。高校生女子では、そう思わないと答えている者の割合が大学生より高かったが、高校生女子において被害経験の有無で比較すると、被害経験が無いものでは52%であるのに対し、被害経験の有るものでは68%とより高率になっている。従って高校生女子において、常習者ではないとする者の割合が高かったことは、実際の被害経験からの影響によると思われる。しかしながら大学生ではこのような傾向は見られない。高校生と大学生とでは、高校生の方が被害にあった年齢のピークがいくぶん低いので、被害者の年齢によって、痴漢行為を行う者自体が異なっている可能性もあろう。

3. 痴漢被害者の人物像

一方痴漢被害者の人物像はどのようなものであろうか？ ここでは被害者の人物像に関する質問の回答結果を分析する。

① 痴漢の被害にあいやすい人物には、なにか特徴があるか

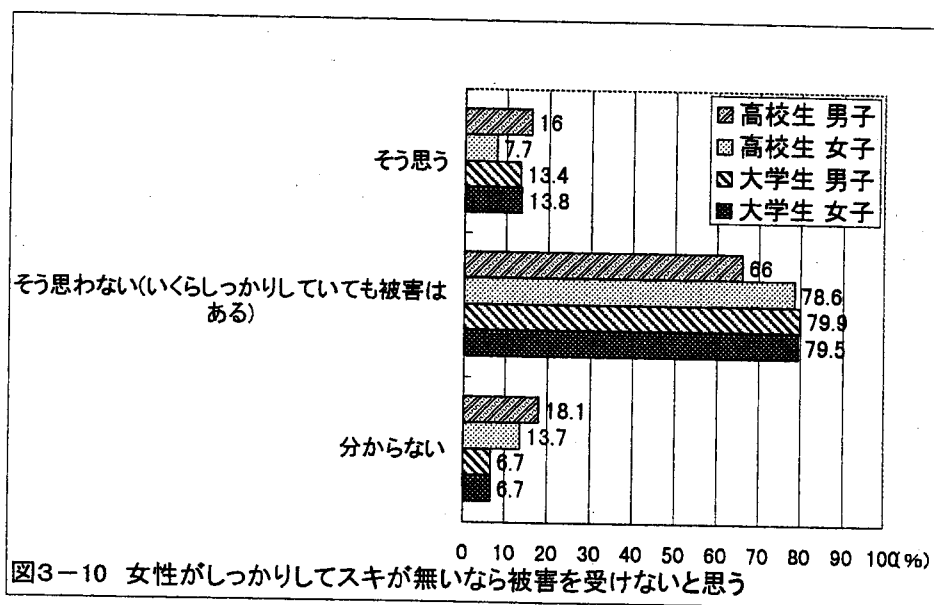
痴漢の被害にあいやすい人物には、なにか特徴があると思うかと思うか、という設問に対する回答結果が図3-9であるが、高校生女子を除いて、特徴があるとするものが、45～60%弱、ないとするものが30～40%弱であり、あるとする者の方が、いくぶん多くなっている。この傾向は男子、特に大学生男子においてもっとも顕著で、特徴があるとする者が、無いとする者より26ポイント上回っている。これに対し高校生女子では、あるとするもの33%、ないとするもの37%、でほぼどちらも同じくらいであり、わからないとするものも、他の群に比べ多くなっている。被害をうけやすい人物に特徴があるとすることは、痴漢被害の原因の少なくとも一部は、被害者にもあると考えることだとすれば、痴漢被害に対して第三者的であり、相対的にいえば立場的に加害者に近いと思われる男子の場合、原因を被害者という外的な要因に帰属し、一方当事者である女子の場合は、自分以外の外的な要因に帰属しようとする、一般的な原因帰属のバイアスがみられといえるかもしれない。



② 女性がしっかりしてスキが無いなら、痴漢の被害を受けることは無いか

被害の原因が被害者にもあるかという問題をより積極的に問うている「女性がしっかりしてスキが無いなら、痴漢の被害を受けることは無いと思うか」という問いに対する回答結果は図3-10の通りである。全体的にそうは思わない（被害者だけの責任ではない）

とするものが圧倒的であるが、高校生の男女でみると、先の質問の結果にみられたと同様のパタン、すなわち男子の方が、相対的に被害者本人にも責任があるとする傾向がみられる。しかしながら大学生においては、こうした男女の相違はみられない。全体に回答傾向が被害者には必ずしも責任がないとする方向に偏っていること、および女子における被害年齢のピークが、大学生においても高校生年代にあり、高校生女子の方がより当事者的であることが関連しているかもしれない。

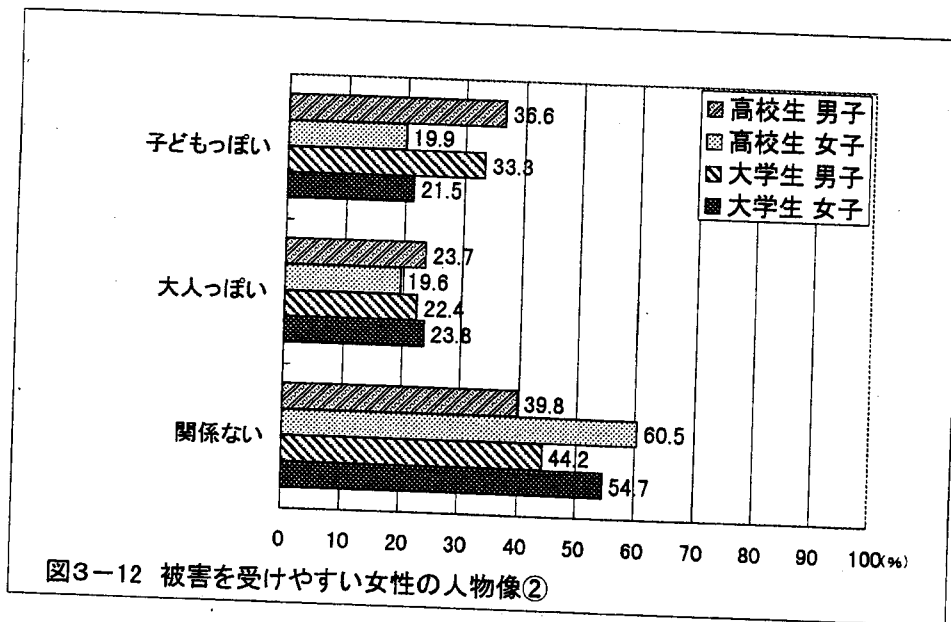
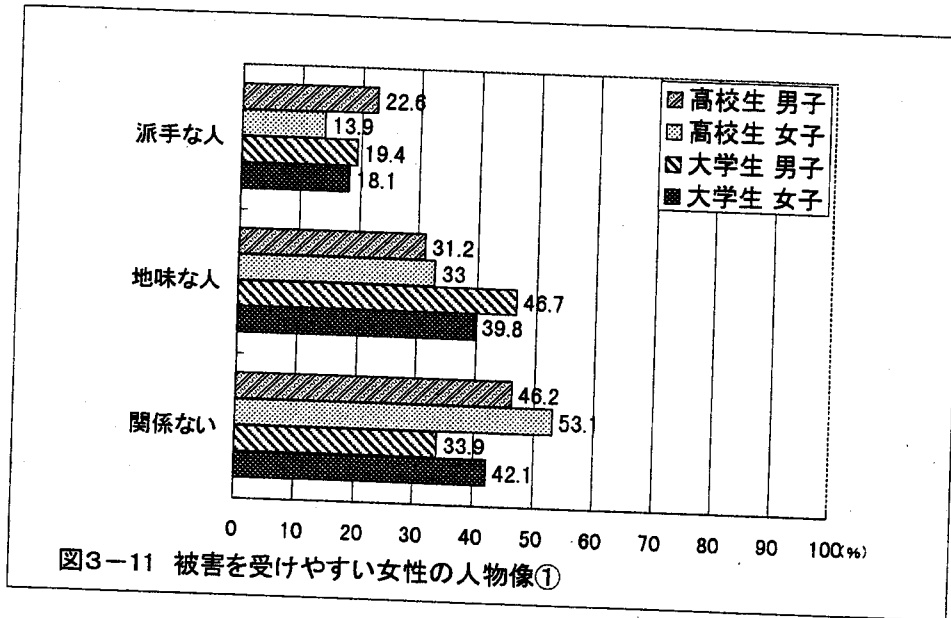


③ 被害者の特性

全体的に見て、被害にあいやすい人には、特徴があるとする者が、無いとする者より、いくぶん多かったが、それではどのような特徴があると考えられているのだろうか。被害を受けやすい人物像について、派手な人—地味な人、子どもっぽい—大人っぽい、気が強そう—気が弱そう、真面目そう—不真面目そう、清潔—不潔、胸が大きい—胸が小さい、動作がのろい—きびきびしている、の7つの特性の対に、それぞれ関係ないとする選択肢を追加した設問の結果を図3-11から図3-17に示す。7つの特性の対についての質問結果から、はっきり一方の特性に関連しているとするもの、関係ないとするものが半数程度あるが、関連しているとするものでは一方の特性にかたよっているもの、いずれともはっきりしないものの3群に項目をわけることができるであろう。

まずはっきりした特性との関連が認められるとするものは、「気が弱そう」であり、80

～90%が、そう答えている。また「清潔」も7～9割弱が肯定しており、関係ないとする者が1～3割あるものの、「不潔」とするものはほとんどいない。

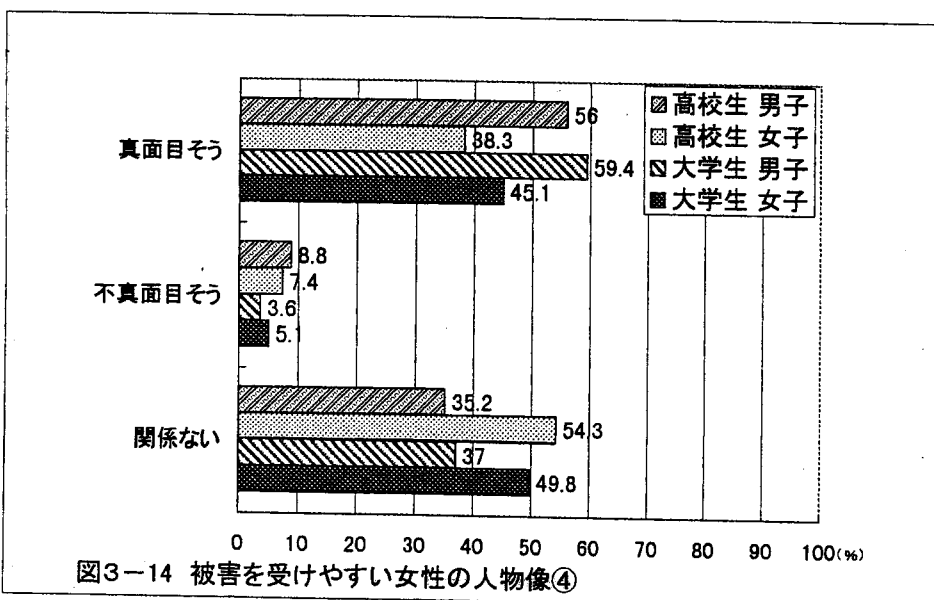
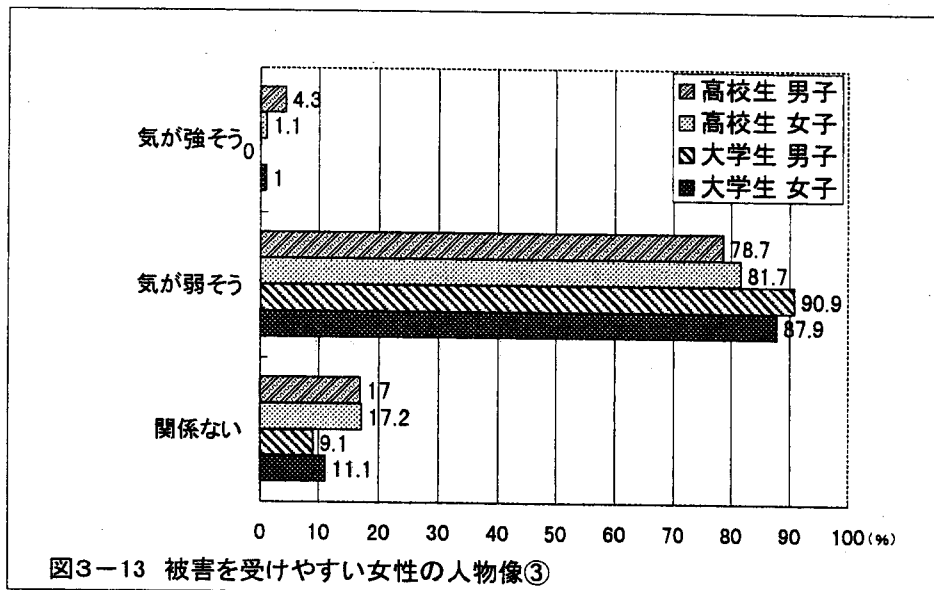


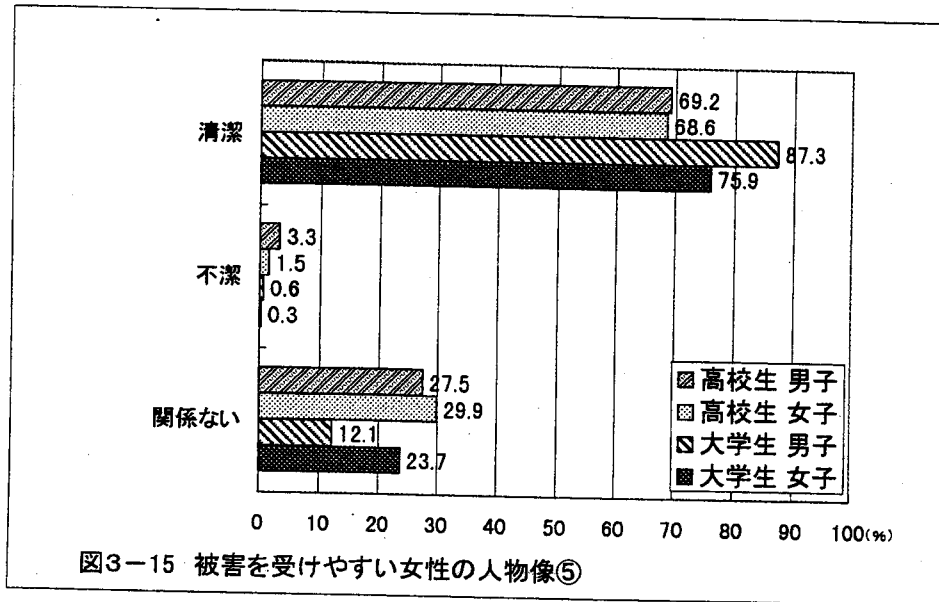
従って「清潔」で「気が弱そう」は、被害にあいやすい人物の特性として一般的なイメージであると言える。

次に関係ないとするものも多いが、特性の間では反応が偏ってはいはっきりしているも

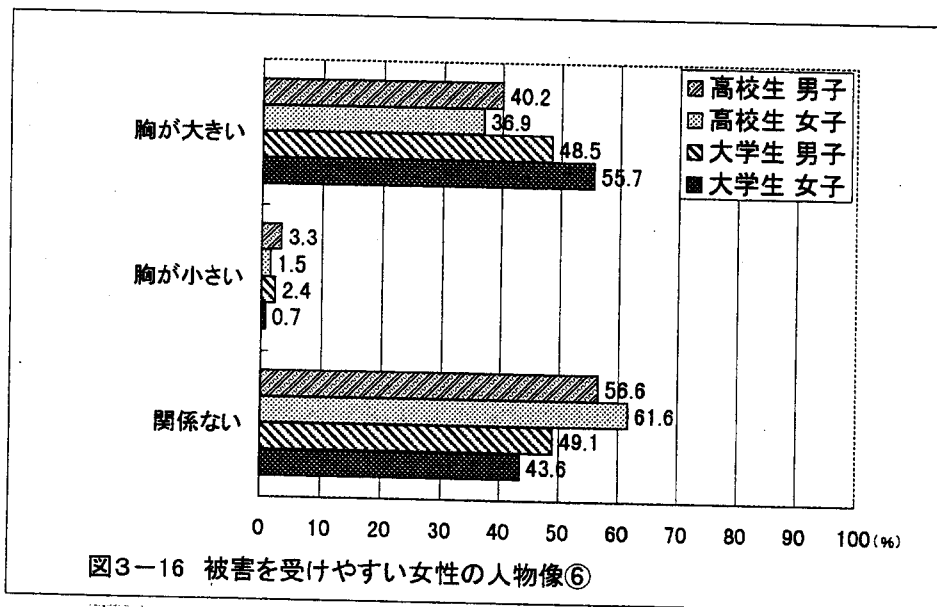
のとしては、「真面目そう」と「胸が大きく」「動作がのろい」という3つの特性がある。

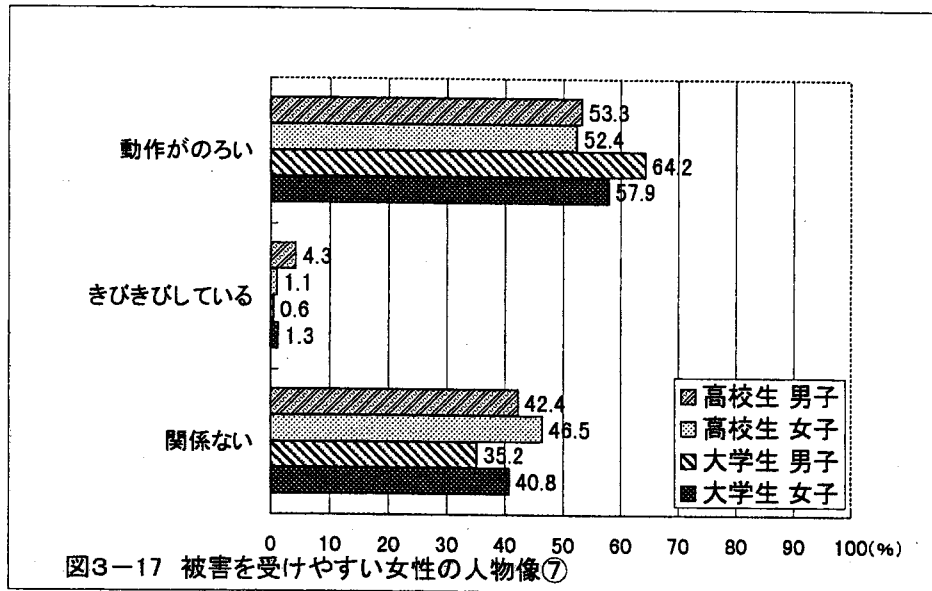
「真面目—不まじめ」や「のろい—きびきび」で35～50%、「胸が大き—小さい」では40～60%程度関係ないとするものがあり、一般にこうした特性があると考えられているとは言えないが、関連するとすれば、はっきり一方の特性があげられている。「真面目そう」「動作がのろい」では、全体的に見てそう答える者が、関係ないとする者を若干上回っており、一方「胸が大き—小さい」では大学生女子では、このような特性があるとする者が関係ないとする者より多いが、大学生男子では同程度、高校生では逆に、関係ないとする者の方が若干多くなっている。





最後に関係ないが多く、それ以外でもいずれの特性ともはっきりしないものとして、「派手—地味」と「子どもっぽい—大人っぽい」がある。





「派手—地味」についてみるとやはり30～50%程度関係ないとする者がいるが、それ以外ではどちらかといえば「地味」とするものが多い。しかし先のカテゴリーに分類した特性では、反対の特性すなわち「不真面目」「胸が小さい」「きびきびしている」と回答した者は「不真面目」で多くても1割以下、後二者はほとんどいないが、「派手」としたものは10～20%程度いる。また「子どもっぽい—大人っぽい」では、男子では若干「子どもっぽい」とするものが多いが、女子では同程度である。

全体的に男女での違いを見ると、女子では「関係ない」とするものの割合が、相対的に多い傾向がみられ、これは先に見た結果と一致している。

以上被害にあいやすい人物についてのイメージをまとめると、「清潔」で「気が弱そう」であり、どちらかといえば「真面目そう」で「動作がのろく」「胸が大きい」ということになろう。性的な魅力を感じさせるが、気が弱く、まじめで、動作がのろく、すぐに声を上げたり、反撃したりしなさそうな人物ということになろう。